石油小形給湯機

取扱説明書 保証書付

品名	型式名
OQB-G4702WFF	OQB-G4701WFF
OQB-G4702W	OQB-G4701W
OQB-G4702WS	OQB-G4701WS

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
　なお、別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。
＊保証書（裏表紙）は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
＊この取扱説明書（保証書付）はいつでもご覧になれるところに保管してください。

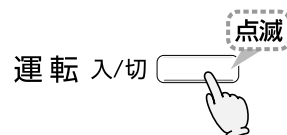
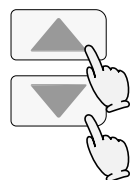
株式会社ノーリツ

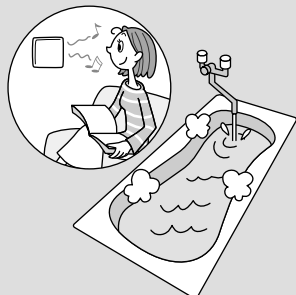
SEB8186

こんなことができます

お湯を出す

P17

運転 入/切 点灯すると

お湯が使えます。

お湯の温度をお好みの温度に設定して使用できます。

おふろにお湯はりをする

P20

温度・湯量を設定して給湯栓を開ける

設定した湯量がたまったら

ブザーでお知らせ

給湯栓を閉める

機器の特徴(ヒーター予熱)・省電力のポイント

機器の特徴(ヒーター予熱)

● 運転スイッチ「入」にしてからお湯が使えるようになるまで、約1分40秒※かかります ●

※季節によって異なります。

この給湯機は、電気ヒーターの熱で灯油をガス化しています(このヒーターをあたためることを「ヒーター予熱」といいます)。灯油がガス化する温度までヒーターがあたたまらないと、お湯が使えません。

運転スイッチ「入」 ——→ 約1分40秒　お湯が使えます

【ヒーターをあたため中です】
運転ランプ点滅中はヒーターが充分にあたたまっていないので、水は出ますが、お湯は出ません。

【ヒーターが充分あたたまりました】
(♪ピピピと音でお知らせします)
運転ランプが点灯している間は常にヒーター予熱をしているため、いつでもお湯が使えます。

省電力のポイント

● 運転スイッチ「入」の間は常にヒーター予熱をしているため、電力を消費します ●

次のどちらかを設定することにより、節電することができます。**(両方を設定することはできません)**

ヒーター予熱予約(☞P24)を設定する
必要な時間帯のみ、機器が自動的に運転スイッチを「入」「切」します。

省電力タイマー(☞P31)を設定する
お湯を使わない時間が続くと、機器が自動的に運転スイッチを「切」にします。

もくじ

まずはじめに

給湯

お湯はり

その他の機能

必要なときに

特に注意していただきたいこと-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

区分	内容
⚠警告（WARNING）	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意（CAUTION）	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い（NOTICE）	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠警告（WARNING）

ガソリン厳禁

ガソリン厳禁

灯油（JIS 1号灯油）を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。

禁止

給排気筒トップの閉そく危険

【屋内設置形の場合】

給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

禁止

給排気筒外れ危険

【屋内設置形の場合】

給排気筒（管・ホース）を、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。穴があいたり外れていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

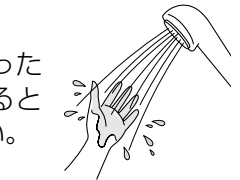
⚠注意（CAUTION）

高温注意

高温注意

次の事項に気をつけてください。やけどのおそれがあります。

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

60℃・75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。

入浴時は、浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

禁止

燃えやすい物をまわりに置かない（洗濯物、新聞紙、灯油など）

火災の原因になります。

禁止

排気口・給排気筒トップのすぐ前に物を置かない

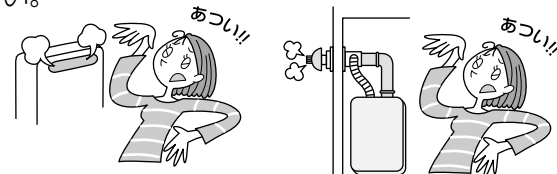
異常燃焼や火災の原因になります。

（つづく）

（つづき）

高温部接触禁止

接触禁止

燃焼中や消火直後は排気口・給排気筒トップやその周辺に手などふれないよう注意してください。

やけどのおそれがあります。

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

禁止

高温に変更されたときのやけど予防のため。
また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。

ゴム製送油管を屋外で使用しない

禁止

油漏れにより火災のおそれがあります。

太陽熱温水器とは絶対に接続しない

禁止

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

子供を浴室内で遊ばせない 子供だけで入浴させない

禁止

思わぬ事故の原因になります。

異常時はただちに使用を中止する

必ずおこなう

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順にしたがってください。

1. 給湯栓を閉める
2. 運転スイッチ「切」にする
3. 送油バルブ・給水元栓を閉める
4. 販売店または、弊社窓口に連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる

必ずおこなう

油漏れにより、火災の原因になります。

給湯、シャワー、お湯はりをする以外の用途には使用しない

禁止

思わぬ事故を予防するため。

変質灯油・不純灯油を使用しない

禁止

変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で長期間保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)は使用しないでください。
機器の故障の原因になります。

ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

禁止

火災の原因になります。

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない

禁止

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

感電、ショート、火災の原因になります。

電源プラグはぬれた手でさわらない

ぬれ手禁止　感電注意

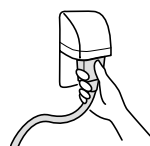
感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

必ずおこなう

差し込みが不充分だと、
感電や火災の原因になります。

電源プラグのほこりは定期的に取る

必ずおこなう

ほこりがたまると、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

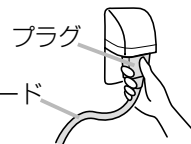
長期間使用しないときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに、凍結を予防するため、必要な処置をしてください。(☞P34)
火災や予想しない事故の原因になります。

電源プラグは、コードを持たずにプラグを持って抜く

必ずおこなう

コードを持って抜くと、
コードが破損し、発熱、
火災、感電の原因になります。

（つづく）

（つづき）

お客様ご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

分解禁止

異常作動してけがの原因となります。

この機器の電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です

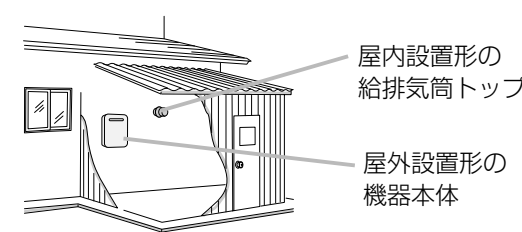
必ずおこなう

他の電源で使用すると、故障・火災の原因になります。

リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

増改築などで屋内状態にしない（波板囲いなどをしない）

禁止

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気口・給排気筒トップのまわりに置かない、使用しない

禁止

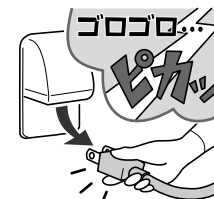
熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

お願い(NOTICE)

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く（またはブレーカーを落とす）

電源プラグを抜く　ぬれ手禁止　感電注意

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは電源プラグをコンセントに差し込み、時計を合わせてください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。
※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

ぬれた手でさわらない
(感電のおそれがあります)

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

運転ランプの消灯を確認する

おやすみやお出かけになるときは、運転スイッチ「切」の状態であることを確認してください。

スス取り剤を使用しない

スス取り剤を使用すると、熱交換器等の損傷を起こす場合がありますので、絶対に使用しないでください。

灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温・直射日光をさけた場所に保管する

灯油が変質する原因になります。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合は保証期間内でも有料修理になります。

凍結による破損を予防する(☞P32～34)

あたたかい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

（つづく）

特に注意していただきたいこと-3

（つづき）

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや塩素系の洗剤を使用しない

変形する場合があります。

台所リモコン・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気をあてない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

積雪時には給・排気口、給排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給・排気口、給排気筒トップがふさがれると、不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

この機器は熱効率がよいため、排気口・給排気筒トップから白い湯気が出やすくなっています

これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色する原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に充分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
（機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、弊社窓口に確認してください）

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉じる

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは、飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

使用前の準備-1

⚠警告 給排気筒外れ危険

給排気筒（管・ホース）を、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。
穴があいたり外れたりしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

⚠注意 排気口・給排気筒トップのすぐ前に物を置かない

異常燃焼や火災の原因になります。

⚠注意 燃えやすい物をまわりに置かない（洗濯物、新聞紙、灯油など）

火災の原因になります。

⚠注意 オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる

油漏れにより、火災の原因になります。

燃　料

⚠警告 ガソリン厳禁

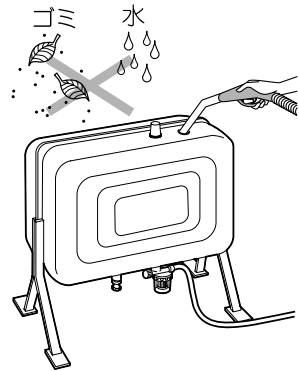
灯油（JIS 1号灯油）を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災のおそれがあります。

⚠注意 変質灯油・不純灯油を使用しない

変質灯油（日光の当たる場所や温度の高い場所で長期間保管して変質した灯油）や、不純灯油（灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油）は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

給　油

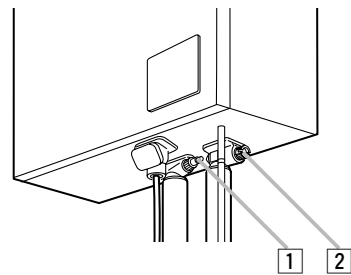
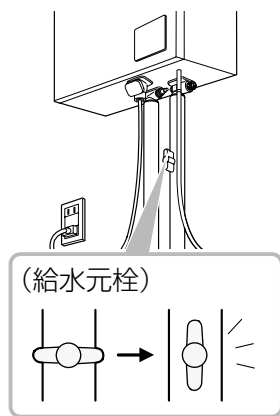
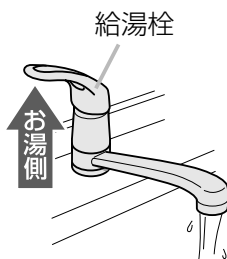
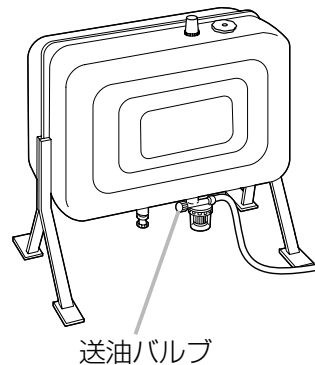
● 給油の際の注意 ●

＊必ず運転スイッチ「切」にしてからおこなってください。
＊水やゴミなどが入らないよう、特に注意してください。
＊給油が終わった後、給油口のふたは確実に閉めてください。
＊こぼれた灯油は、よくふきとってください。
＊オイルタンクを空にすると、送油配管内に空気がはいり、次回使用するときに着火がスムーズにできない場合があります。

● オイルタンクを空にしないでください ●

使用前の準備-2

運転開始前の準備と確認

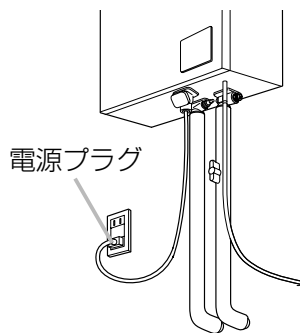
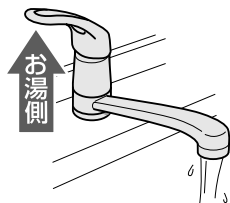
屋内設置形で説明していますが、屋外設置形でも手順は同じです。

1 過圧防止安全装置（水抜き栓付）1・水抜き栓2が閉まっていることを確認する

2 給水元栓を全開にする

3 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める

4 オイルタンクの送油バルブを全開にする

5 オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないか、確認する

6 電源プラグをコンセントに差し込む

ぬれた手でさわらない

※対震自動消火装置が自動的にセットされます。

7

1. リモコンの 運転 入/切 を「入」にする
2. 運転 入/切 が点滅から点灯になったことを確認する
3. 給湯栓を開けて、お湯が出てくることを確認する
   ※リモコンに「110」「120」「290」の表示が出たときは、運転スイッチをいったん「切」にし、もう一度手順7の1.よりやり直してください。

4. 機器を使用しない場合は 運転 入/切 を「切」にする

【例：台所リモコン】

各部のなまえとはたらき（機器本体）

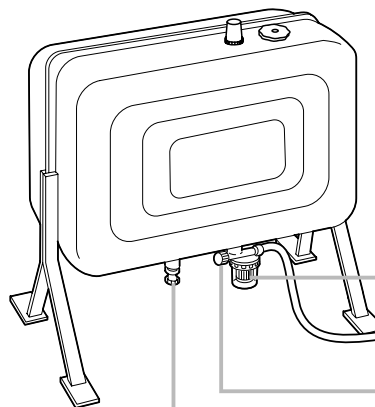
イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・オイルタンク・電源コンセントの位置など実際と異なります。

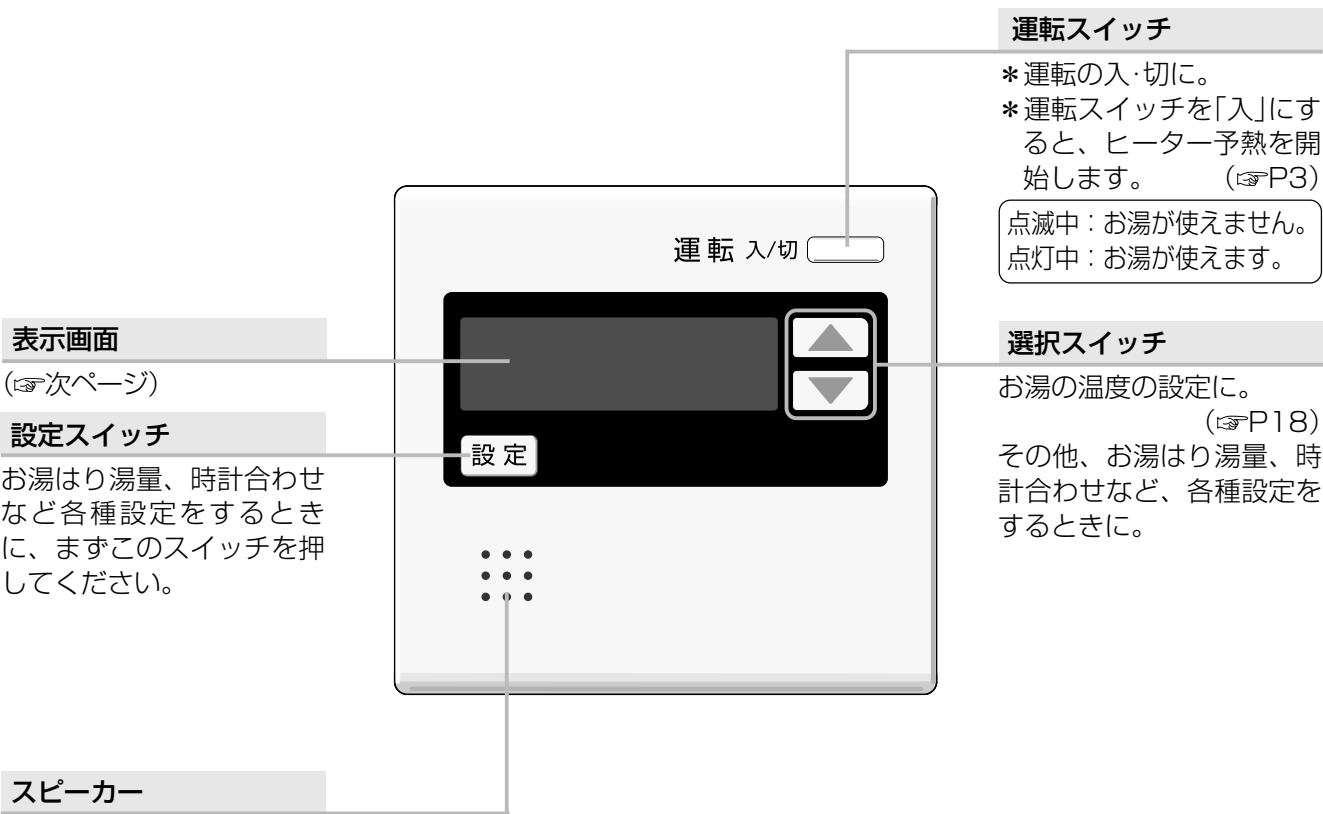
● 屋内設置形 ●

OQB-G4702WFF

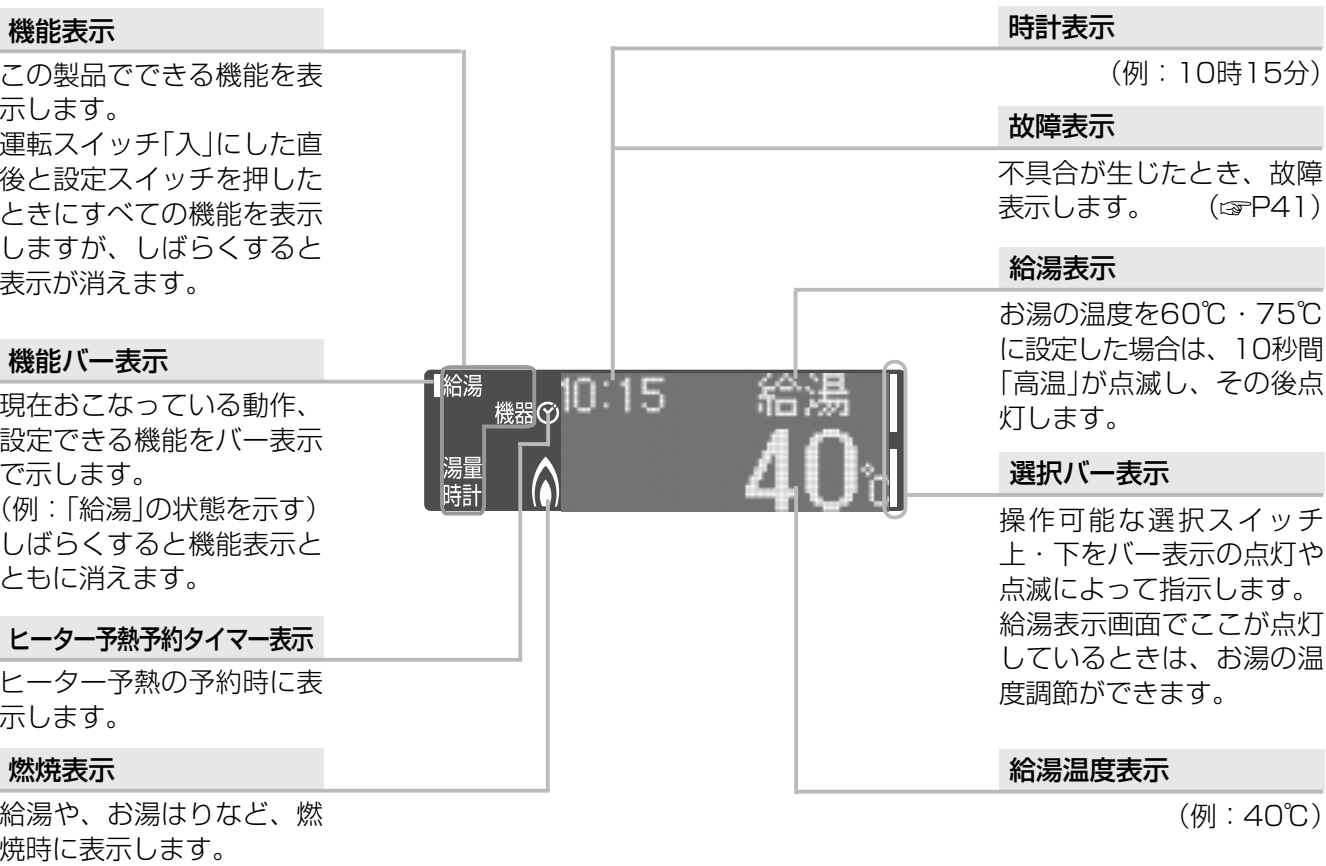
● 屋外設置形 ●

OQB-G4702W, OQB-G4702WS

● オイルタンク ●

台所リモコン/本体操作部(RC-7506M-3)

＊台所などに付いているリモコンです。屋内設置形の機器は、機器に取り付けられている場合があります。
＊スイッチを押すと操作音が鳴ります。操作音を消すこともできます。(☞P28)

> その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

● 表示画面 ●

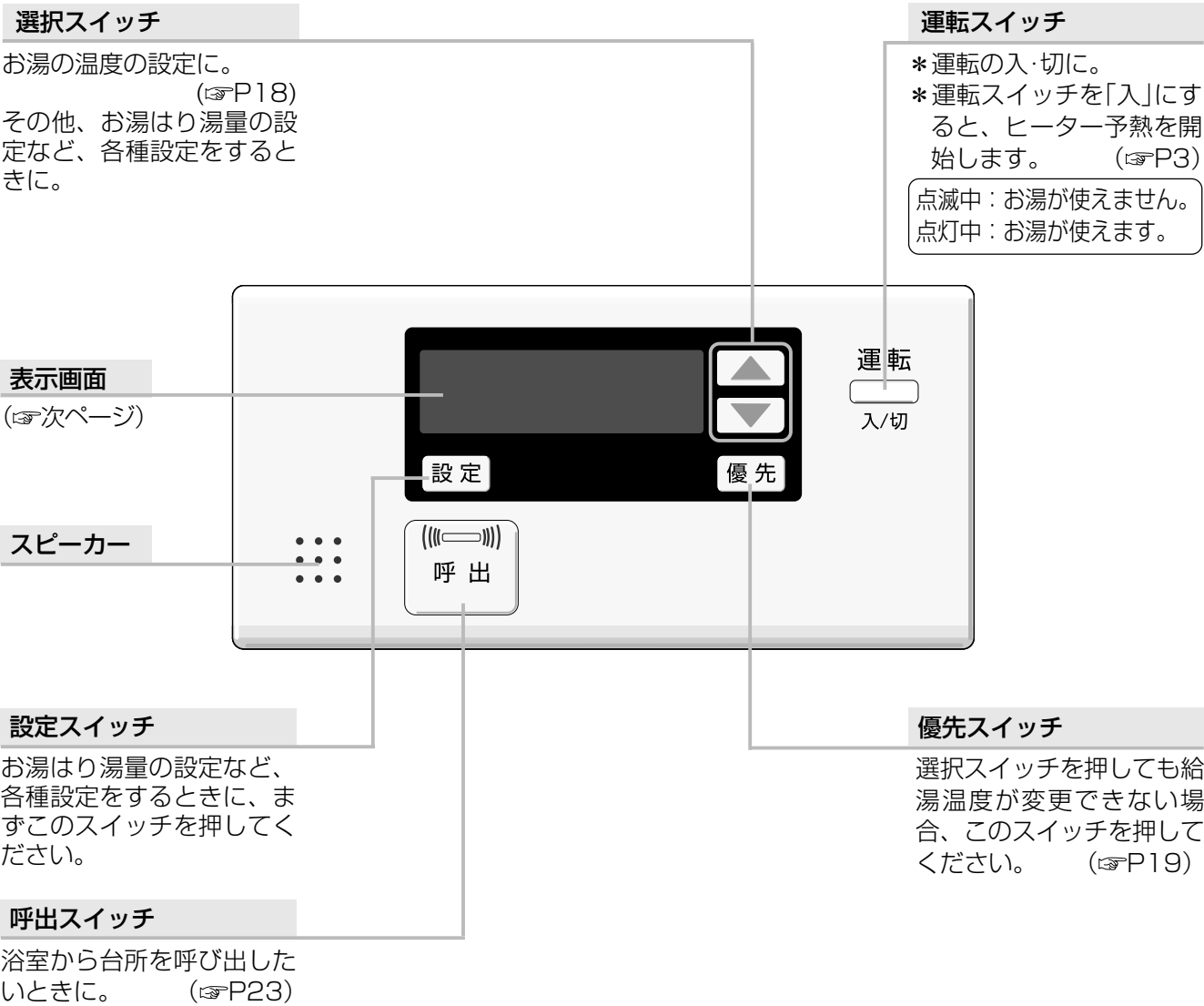
下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

● 表示の節電(詳しくは☞P29) ●

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。このしくみを「表示の節電」といいます。運転ランプのみ点灯して運転スイッチ「入」であることをお知らせします。

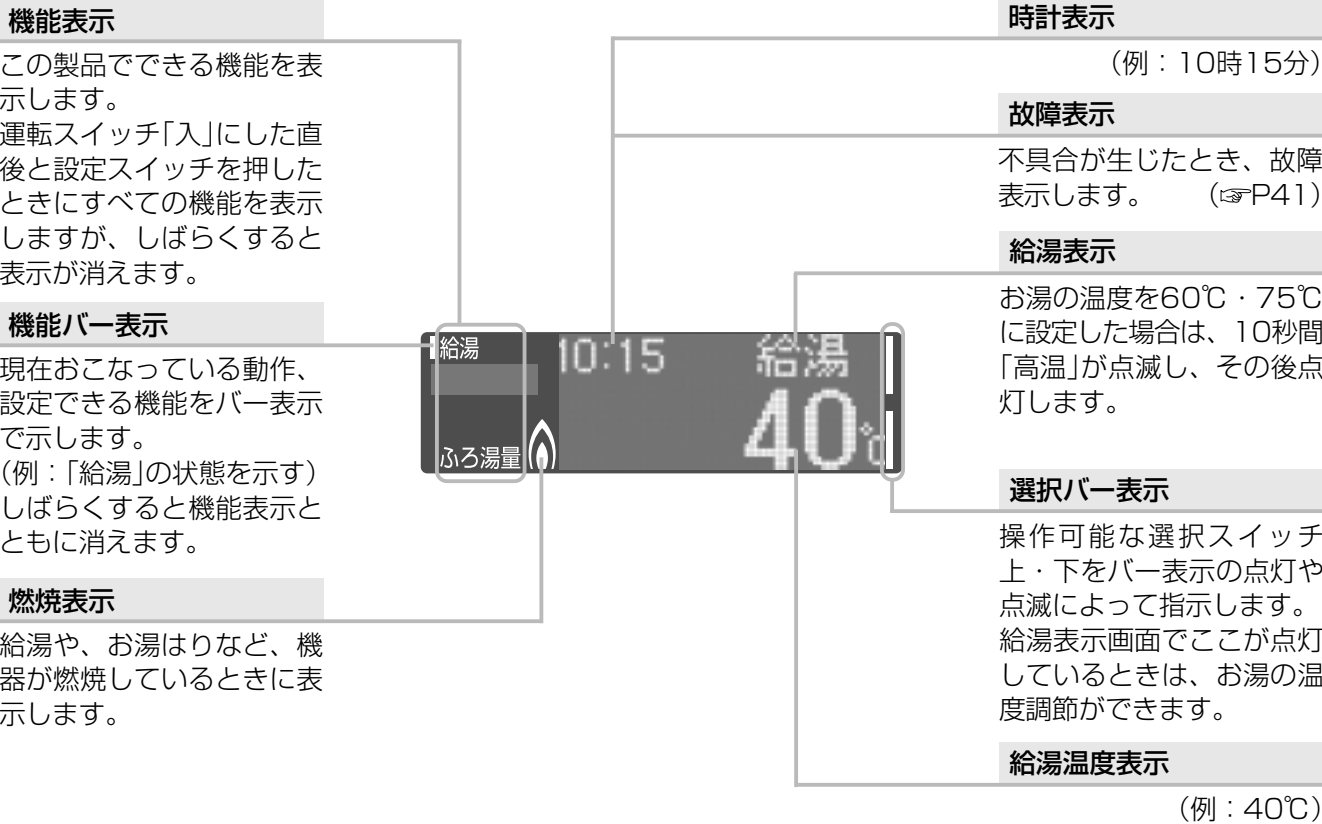
※表示の節電をしないように変更することもできます(☞P30～31)。
表示の節電をしない場合は、画面の焼付を防止するため、機器を使用しないまま約10分たつと画面の状態が変わります(表示が横にスクロールします)。

各部のなまえとはたらき(リモコン)-2

浴室リモコン(RC-7506S-3)＜別売品＞

＊浴室に付いているリモコンです。
＊スイッチを押すと操作音が鳴ります。操作音を消すこともできます。(☞P28)

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

● 表示画面 ●

下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

● 表示の節電(詳しくは☞P29) ●

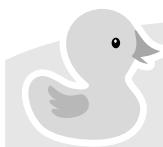
リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。このしくみを「表示の節電」といいます。運転ランプのみ点灯して運転スイッチ「入」であることをお知らせします。

※表示の節電をしないように変更することもできます(☞P30～31)。
　表示の節電をしない場合は、画面の焼付を防止するため、機器を使用しないまま約10分たつと画面の状態が変わります(表示が横にスクロールします)。

台所リモコンで 時計を合わせる

【台所リモコン】

時計合わせは台所リモコンでします。
（浴室リモコンではできません）

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	運転 入/切 を「入」にする	0:00 給湯 40℃	＊運転 入/切 の点滅・点灯に関係なく、設定できます。
2	設定 を何回か押して バー表示を「時計」の位置にする	ここ 給湯 機器 湯量 時計 時計合わせ PM 0:00	
3	▲▼ で時計を合わせる	給湯 機器 湯量 時計 時計合わせ AM10:00（例：午前10時）	＊一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。
4	設定 を押す ＜設定完了＞	ここのみ点滅 給湯 機器 湯量 時計 10:00 給湯 40℃	＊約20秒そのままにしても、設定完了します。

＊停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電し、運転スイッチ「入」にすると時計表示が「0：00」になりますので、時計を合わせなおしてください。

お湯を出す

【台所リモコン】

【浴室リモコン/別売品】

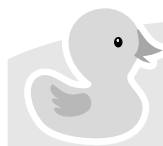
★ここでは台所リモコンで説明します★

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	運転 入/切 を「入」にする 【予熱開始】運転 入/切 点滅 【お湯が出ます】運転 入/切 点灯	10:15 給湯 40℃ 確認（例：40℃）	＊運転 入/切 点滅。運転 入/切 点滅中はお湯が出ません。（☞P3） ＊前回設定した給湯温度を表示します。
2	運転 入/切 の点灯を確認し、給湯栓を開ける または シャワーを出す	10:15 給湯 40℃ 燃焼中点灯	【給湯量と給湯温度の早見表】 ※（　）内は湯、水を混合した値です。

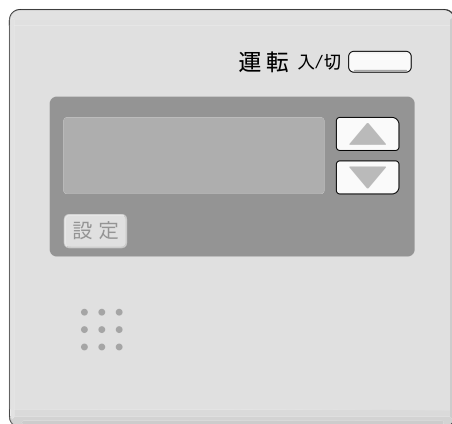
給湯温度＼水温	8℃(冬期)	18℃(春·秋期)	28℃(夏期)
	給湯量　L／min		
40℃	約21.0	※(約30.5)	※(約55.5)
48℃	約17.0	約22.5	※(約34.0)
60℃	約13.0	約16.0	約21.0

● お湯を止めたいとき

給湯栓を閉める
または シャワーを止める

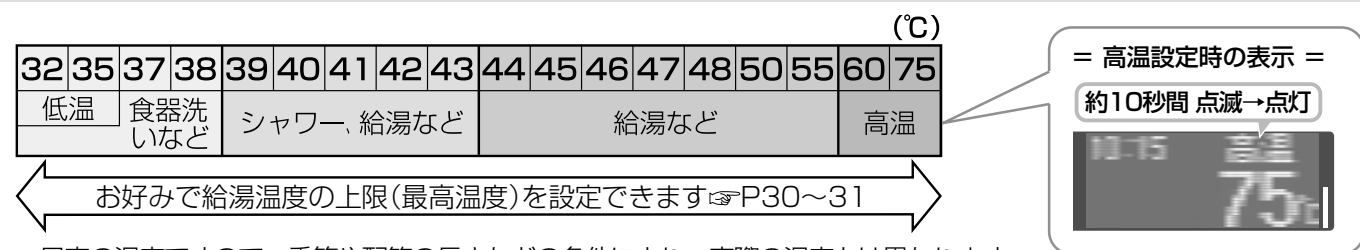
⚠注意		シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する	⚠注意		シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない
60℃・75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。やけど予防のため。			高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。		

＊初めてご使用になるときなどは送油経路に空気が入っていて点火せず、リモコンに「110」「120」「290」を表示することがあります。このときは、一度給湯栓を閉め、しばらく待ったあと、運転スイッチを「切」「入」してから給湯栓を開ける操作を、2～3回くりかえしてください。

お湯の温度を調節する

【台所リモコン】

【浴室リモコン/別売品】

★ここでは台所リモコンで説明します★

操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転 入/切 を「入」にする	点灯確認 10:15 給湯 40℃ （例：40℃）	＊運転 入/切 の点滅・点灯に関係なく、設定できます。 ＊前回設定した給湯温度を表示します。
2 ▲▼でお好みの温度に調節する	給湯 機器 湯量 時計 10:15 給湯 41℃ （例：41℃）	＊選択バー表示が点灯していない場合に ▲▼ を押すと、温度調節ができないことを音声でお知らせします。

● お湯の温度の目安 ●

＊目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。
＊低温（食器洗いなど）に設定した場合、水温が高いとその温度にならないことがあります。
＊表示の温度をよく確かめてから使用してください。高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
＊いったん運転スイッチを「切」にして再度使用する場合、前回の設定温度が75℃のときは、安全のため60℃になります。
＊サーモ付混合水栓の場合は、リモコンのお湯の温度設定をご希望の温度より約10℃高く設定すると、ちょうどよくなります。

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。

浴室リモコンがある場合

お湯の温度を調節できないときは（優先）

【浴室リモコン/別売品】

【台所リモコン】

操作	操作後の画面	お知らせ
● 浴室リモコンで温度調節ができないとき		
優先 を押して 優先 および 選択バー表示を 点灯させる		
● 台所リモコンで温度調節ができないとき		
いったん 運転 入/切 を「切」にし、再度「入」にして選択バー表示を点灯させる		＊運転が停止するため、ご注意ください。 ＊運転を停止させたくない場合は、浴室リモコンの 優先 で切り替えてください。

「優先」とは

台所、洗面所、シャワーなど、給湯機器からお湯を供給しているところには、同じ温度のお湯が出ます。
そのため、お湯を使っているときに他の人が給湯温度を変えてしまうと、出ているお湯の温度が変わり、使っている人がやけどをしたり、急に冷たくなってびっくりする原因になります。
このような事故などを防ぐために、リモコンが複数ある場合は一つのリモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。
給湯温度を調節できることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには給湯表示の横に選択バー表示が点灯します。

■ 運転スイッチを「入」にしたリモコンが優先になります。

■浴室リモコンの 優先 で、リモコンの優先を切り替えることができます。

おふろにお湯はりをする

浴槽にお湯をはるとき、お湯の量を設定しておくと、その量になったときにリモコンのお湯はりブザーが鳴ってお知らせします。（お湯は自動的に止まりません）

【台所リモコン】

【浴室リモコン/別売品】

★ここでは台所リモコンで説明します★

	操作	操作後の画面	お知らせ
準備	①排水栓を閉める ②ふたをする ※お湯が入る部分は開けておく		＊運転 入/切 点滅中はお湯が出ません。 あらかじめ運転 入/切 を「入」にして運転 入/切 を点灯させておくと、すぐにお湯はりをすることができます。（☞P3）
1	運転 入/切 を「入」にする 【予熱開始】運転 入/切 点滅 【お湯が出ます】運転 入/切 点灯	7:00 給湯 40℃ 温度確認 点灯確認	＊お湯はり湯量を確認し、必要があれば調節してください。（☞P22） ＊前回設定したお湯はり温度を表示します。 ＊**優先側のリモコンの給湯温度でお湯はりします。必ず優先側の給湯温度を確認してください。**
2	給湯栓を開ける 【お湯はり開始】	7:00 給湯 40℃ 燃焼中点灯	＊お湯はり中は安全のため、優先を切り替えないでください。 ＊**サーモ付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最も高温にしてください。** 最高温度側に 中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。

（つづく）

（つづき）

	操作	操作後の画面	お知らせ
3	【設定した量が入ると】 お湯はりブザーが鳴ってお知らせするので･･･ 止めに行こう	給湯栓をしめて下さい	＊設定した湯量程度のお湯がはいったのに、お湯はりブザーが鳴らないのはなぜ？（☞P39）
	給湯栓を閉める 【お湯はり完了】		

● お湯はり温度の目安 ●

（℃）

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ					ふつう				あつめ				

※**50℃以上の設定もできますが、やけどのおそれがありますので、設定しないでください。**
＊目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。

お湯はり湯量を調節する

【台所リモコン】

【浴室リモコン/別売品】

★ここでは台所リモコンで説明します★

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	運転 入/切 を「入」にする	7:00 給湯 40℃	＊運転 入/切 の点滅・点灯に関係なく、設定できます。
2	設定 を何回か押して バー表示を「湯量」の位置にする	ここ → 給湯 機器 湯量 時計 お湯はり 湯量 180L	＊【浴室リモコン/別売品の場合】 設定 を何回か押して、バー表示を「ふろ湯量」の位置にする。 （ここ → 給湯 ふろ湯量 お湯はり 湯量 180L）
3	▲▼ でお好みの湯量に調節する	給湯 機器 湯量 時計 お湯はり 湯量 200L （例：200L）	＊変更した湯量は記憶します。
4	設定 を押す ＜設定完了＞	給湯 機器 湯量 時計 7:00 給湯 40℃ 40℃	＊約20秒そのままにしても、設定完了します。

● お湯はり湯量を確認したいとき

上記手順1～2と同じ操作で確認できます

● お湯はり湯量の目安 ●

(L)

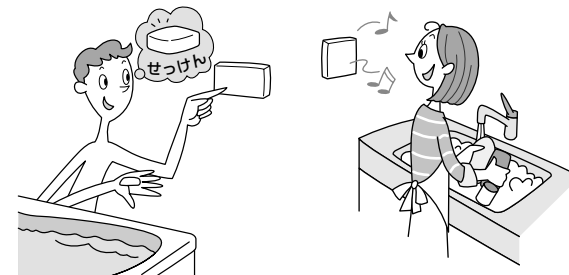
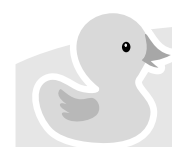
40	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300	350	400	湯量設定なし

＜湯量設定なしの表示＞

浴室リモコンがある場合

浴室から台所リモコンのブザーを鳴らす(呼び出し)

【浴室リモコン/別売品】

浴室にいるときに、何か必要な物があったり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼び出しスイッチで知らせることができます。
(インターホンではないので会話はできません)

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	呼出 を押す	【呼び出し中】	＊運転 入/切 の「入」「切」に関係なく、呼び出します。 ＊呼出 ランプ点灯→消灯。 ＊ブザーが鳴って呼び出します。 ＊押し続けると、手を離すまでブザーをくりかえします。

＊リモコンの操作音「なし」の設定（☞P28）でも、呼び出し音は鳴ります。

お好みの時間帯にお湯が使えるよう設定する　（ヒーター予熱予約）-1

決まったパターンから設定する【予約パターン P1～P5】

【台所リモコン】

＊一度設定すれば解除するまで毎日、開始時刻になると自動的に運転スイッチ「入」になってヒーター予熱をし、終了時刻になると自動的に運転スイッチ「切」※になります。
＊台所リモコンで設定します。

※ただし、終了時刻になっても、お湯を使わない時間が約１時間経過するまでは、運転スイッチ「切」になりません。

操作	操作後の画面	お知らせ
予約パターン P4 を設定する例で説明します		
準備 現在の時刻が正しいかどうか確認する（時計を合わせる☞P16）		
1 運転 入/切 を「入」にする	10:15 給湯 40℃	＊運転 入/切 の点滅・点灯に関係なく、設定できます。
2 設定 を何回か押して バー表示を「機器」の位置にする	ここ 給湯 機器 湯量 時計 予熱予約 予約	
3 ▼ で「予約」を選択する	点灯 PM 12 AM パターン P1	＊前回の設定を表示します。
4 ▲ を何回か押して お好みの予約パターン P1～P5 を選択する	PM 12 AM パターン P4（例：予約パターン P4）	＊予約パターンについて（☞P25） ＊前回の設定でよければ、手順5をおこなってください。
5 設定 を押す <ヒーター予熱予約完了>	PM 12 AM 10:15 給湯 40℃ 時計表示になります	＊約20秒そのままにしても、設定完了します。

＊予約パターン P5 に設定した場合のみ、手動で運転スイッチ「入」にしてください（自動的に「入」にはなりません）。運転スイッチ「切」にするまで、ヒーター予熱をします。

操作	操作後の画面	お知らせ
● ヒーター予熱予約を解除したいとき		
1 P24の1～2の手順で バー表示を「機器」の位置にする	ここ 給湯 機器 湯量 時計 PM AM 切	
2 ▼ で「切」を選択する <予約解除>	消灯 10:15 給湯 40℃	＊予約を解除しても、設定した予約パターンは記憶しています。

● 予約パターンについて ●

予約パターン P1	予約パターン P2	予約パターン P3	予約パターン P4	予約パターン P5	予約パターン P6
（予熱時間帯）朝６時～朝９時	（予熱時間帯）朝６時～朝９時 夜５時～夜11時	（予熱時間帯）朝６時～朝９時 朝11時～昼２時 夜５時～夜11時	（予熱時間帯）朝6時～夜11時	（予熱時間帯）終日 ※省電力タイマー「連続」（☞P31）と同じはたらきになります。	自由に時間帯を設定できます（☞P26,27）

お好みの時間帯にお湯が使えるよう設定する　(ヒーター予熱予約)-2

自由に時間帯を設定する【予約パターン P6】

【台所リモコン】

＊一度設定すれば解除するまで毎日、開始時刻になると自動的に運転スイッチ「入」になってヒーター予熱をし、終了時刻になると自動的に運転スイッチ「切」※になります。
＊台所リモコンで設定します。

※ただし、終了時刻になっても、お湯を使わない時間が約１時間経過するまでは、運転スイッチ「切」になりません。

操作	操作後の画面	お知らせ
朝6時～朝8時と夜6時～夜10時の間、ヒーター予熱をする例で説明します		＊ヒーター予熱する時間帯は、複数設定できます。
1 P24の準備～4の手順で予約パターン P6 を選択する	給湯 機器 PM 12 AM パターン P6 設定 湯量 時計	＊前回の設定を表示します。 ＊前回の設定でよければ手順6をおこなってください。
2 ▼ で「設定」を選択する	給湯 機器 AM12～1 入 切 湯量 時計	
3 ▼ (＝切□)を押し進めて行き AM6～7で ▲ (＝入■)を押す ▲－入■ の時間帯は予熱「入」 ▼－切□ の時間帯は予熱「切」		＊AM6～7が予熱「入」の設定になります。
4 続けてAM7～8で ▲ (＝入■)を押す	給湯 機器 AM 7～8 入 切 湯量 時計	＊AM7～8も予熱「入」の設定になります。
5 手順3と同様に、▼ (＝切□)を押し進めて行き PM6～7，PM7～8，PM8～9，PM9～10で ▲ (＝入■)を押す	PM 9～10	＊さらにPM 6～7，PM 7～8，PM 8～9，PM 9～10が予熱「入」の設定になります。
6 設定 を押す <ヒーター予熱予約完了>	給湯 機器 PM 12 AM 10:15 給湯 40℃ 湯量 時計 時計表示になります	＊約20秒そのままにしても、設定完了します。

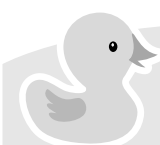
操作	操作後の画面	お知らせ
● ヒーター予熱予約を解除したいとき		
1 P24の1～2の手順でバー表示を「機器」の位置にする	ここ 給湯 機器 PM AM 切 湯量 時計	
2 ▼ で「切」を選択する <予約解除>	消灯 給湯 機器 10:15 給湯 40℃ 湯量 時計	＊予約を解除しても、設定した予約パターンは記憶しています。

リモコンの操作音の有無を変更する

【台所リモコン】

【浴室リモコン/別売品】

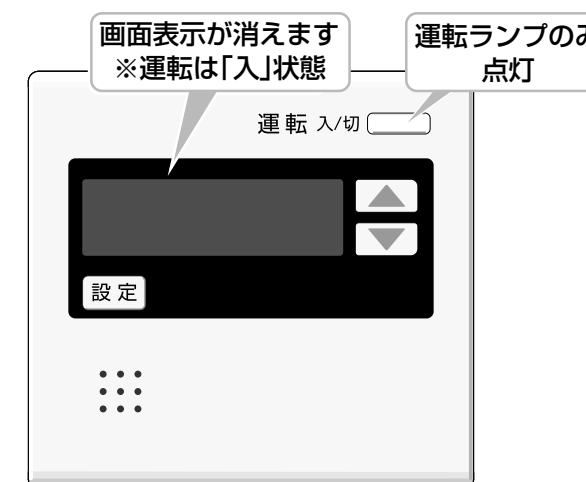
★ここでは台所リモコンで説明します★

	操作	操作後の画面	お知らせ
1	運転 入/切 を「切」にする		＊運転 入/切 消灯。
2	【操作音「なし」の設定にする場合】 運転 入/切 を 5秒以上押し続ける		＊運転 入/切 点灯。 ＊変更できても操作音は鳴らないため、いずれかのスイッチを押して、操作音が鳴らないことを確認してください。
	【操作音「あり」の設定にする場合】 運転 入/切 を 5秒以上押し続ける		＊運転 入/切 点灯。 ＊変更できると「ピッ」と操作音が鳴ってお知らせします。

＊各リモコンで変更できます。
＊呼び出しブザーおよびお湯はりブザーは、操作音を消しても鳴ります。

リモコンの表示の節電について

リモコンの無駄な電力消費を防ぎます。（「表示の節電」の設定変更の方法☞P30〜31）

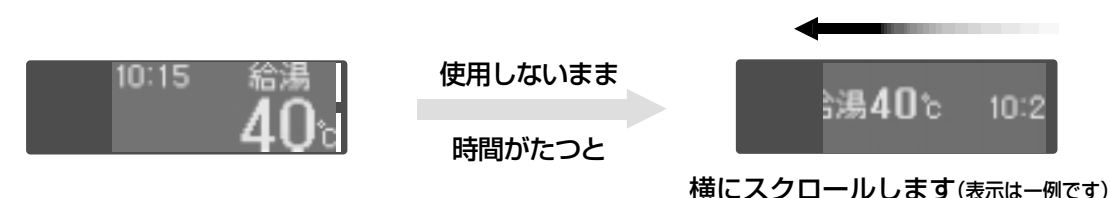
機器を使用しないまま約10分たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。

＜例：台所リモコン＞

表示の節電をしない場合（スクロール表示）

表示の節電を設定していない場合は、画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分たつと画面の状態が変わります（スクロール表示）。再使用したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。

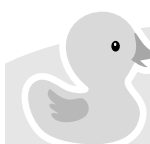
使用しないまま

時間がたつと

横にスクロールします（表示は一例です）

ヒーター予熱予約中のスクロール表示について（台所リモコンのみ）

表示の節電「しない」に設定した場合（☞P31）、次のスクロール表示をします。

＊運転スイッチ「入」時は、「現在時刻 ＋ 予熱予約中」と「給湯温度」の文字が交互に画面を流れて、予熱予約中であることをお知らせします。

＊運転スイッチ「切」時でも、「予熱予約中」の文字が画面を流れて、予熱予約中であることをお知らせします。

＊再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
　※呼出スイッチは、1回押すだけで表示の節電を解除すると同時に、機能もはたらきます。
＊表示の節電中は、時計表示はしません。
＊給湯温度を60℃・75℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。

いろいろな設定を変更する

設定変更の手順

【台所リモコン】

【浴室リモコン/ 別売品】

★ここでは台所リモコンで説明します★

操作	操作後の画面	お知らせ
「給湯温度の上限(最高温度)を変更する」の例で説明します		
1 運転 入/切 [ ] を「切」にする		＊運転 入/切 [ ] 消灯。 ＊台所リモコン・浴室リモコンのどちらかで変更できます。
2 [設定] を何回か押して「給湯最高温度」設定画面にする	給湯 最高温度 75℃	＊現在の設定を表示します。
3 [▲] [▼] で設定を変更する	給湯 最高温度 60℃	＊32,35,37～48(1℃きざみ), 50,55,60,75℃で設定できます。
4 [設定] を押す <設定完了>		＊約20秒そのままにしても、設定完了します。

変更できる設定内容

P30の手順を参考に、変更してください。

[ ]＝初期設定(工場出荷時)

省電力タイマーの設定を変更する

台所リモコンで設定

※ヒーター予熱予約(☞P24～27)をしている場合、この表示は出ません。

0.5	1	2	3	4	5	6	連続

0.5～6：お湯を使わないと自動的に運転スイッチ「切」になる経過時間

連続：自動的に運転スイッチ「切」にはなりません

(単位：時間)

「お湯が使えるお知らせ音」の設定を変更する

台所リモコンで設定

(設定している方が点滅します)

あり	「ピピピ」と音でお知らせします
なし	お知らせ音は鳴りません

リモコンの表示の節電の設定を変更する

浴室リモコン・台所リモコンそれぞれで設定

(設定している方が点滅します)

する	表示の節電をします(☞P29)
しない	表示の節電をせず、スクロール表示します(☞P29)

給湯温度の上限(最高温度)を変更する

浴室リモコン・台所リモコンどちらかで設定

32	35	37～48(1℃きざみ)	50	55	60	75

(単位:℃)

機器の水抜きをする

浴室リモコン・台所リモコンどちらかで設定

する	機器の水抜きをするときに「する」を選択してください(☞P34)
しない	機器の水抜きをせず、ひとつ前の画面に戻ります

凍結による破損を予防する-1

お願い 凍結による破損を予防する

＊あたたかい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

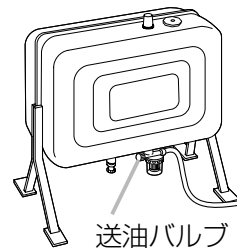
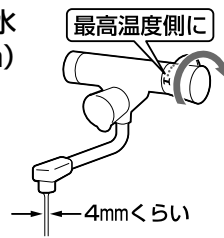
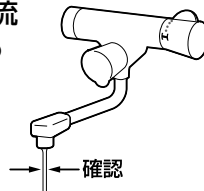
機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと凍結予防しないため、電源プラグは抜かない

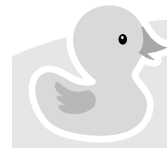
＊運転スイッチ「入」「切」に関係なく凍結予防します。
＊給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。（わからないときは、販売店に確認してください）

■低温注意報が発令されたときや、冷え込みが厳しいときは、さらに以下の処置をする

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

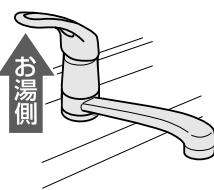
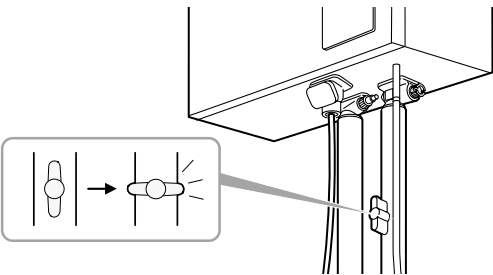
2 送油バルブを閉める

3 おふろの給湯栓を開いて、少量の水（１分間に約400cc･･･太さ約4mm）を流したままにしておく
※サーモスタット付混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定する。

4 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する

＊機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
＊結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが（☞P7）、凍結予防の処置の場合は問題ありません。
＊サーモスタット付混合水栓やシングルレバー式混合水栓をお使いの場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
＊この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P34の手順で水抜きをおこなってください。

凍結してお湯（水）が出ないとき

■運転スイッチを「切」にする

＊「入」にしていると燃焼する場合があります。
＊気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

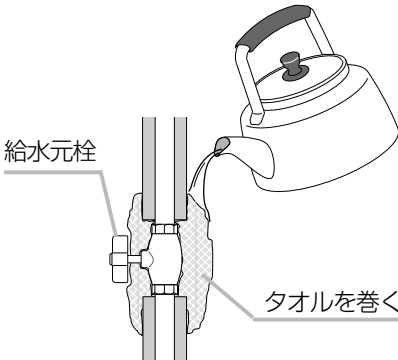
■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

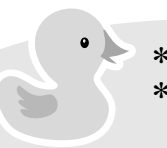
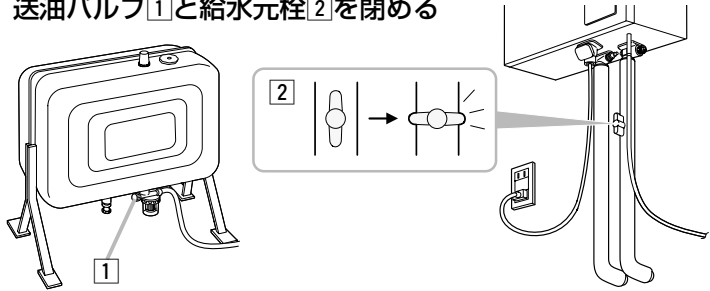
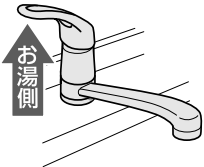
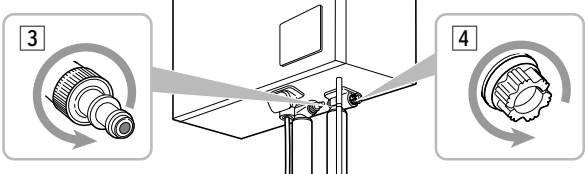
1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

2 台所などの給湯栓を少し開けておく

3 給水元栓を回してみる（閉めてみる）

■ 給水元栓が凍結して回らない場合

1）タオルを給水元栓のまわりに巻く。
2）**人肌程度（30～40℃）のぬるま湯**を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。

注意
＊熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
＊機器の電源コード・プラグ、コンセントにお湯がかからないように注意してください。

3）給水元栓が回る（水が流れる音がする）ようになったら、給湯栓を閉める。
4）タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふきとる。
5）今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。（わからないときは、販売店に確認してください）

■ 給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

＊凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
＊給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

凍結による破損を予防する-2

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

⚠注意	機器の水抜きをする場合は、運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。 お湯の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。	

屋内設置形で説明していますが、屋外設置形でも手順は同じです。

	操作	お知らせ
1	送油バルブ1と給水元栓2を閉める	
2	すべての給湯栓を全開にする	
3	1. 過圧防止安全装置(水抜き栓付)3を左に回してゆるめる 2. 水抜き栓4を左に回して外す	※水抜き栓は保温材などで見えにくくなっていることがあります。 ＊水抜き栓から勢いよく水が飛び散る可能性があります。 ＊外した水抜き栓はなくさないようにしてください。
4	1. 運転 入/切 を「切」にする 2. 設定 を何回か押し、「機器の水抜き」設定画面にする 3. ▲ で「する」を選択する リモコンに[水抜き中]の表示が出て水抜きをはじめ、約2分30秒後にお知らせ音が鳴って水抜きが終了します。	※運転スイッチを「入」にすると、水抜きを中断します。 ※水抜きの途中で電源プラグを抜かないでください。
5	機器の電源プラグを抜く ぬれた手でさわらない	

● 再使用のとき ●

P10「運転開始前の準備と確認」の手順にしたがって、使用してください。

日常の点検・お手入れのしかた-1

⚠注意	機器の点検・お手入れをする場合は、運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。 お湯の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。	

点検（定期的に）

チェック 排気口・給気口・給排気筒トップがほこりなどでふさがっていないか？

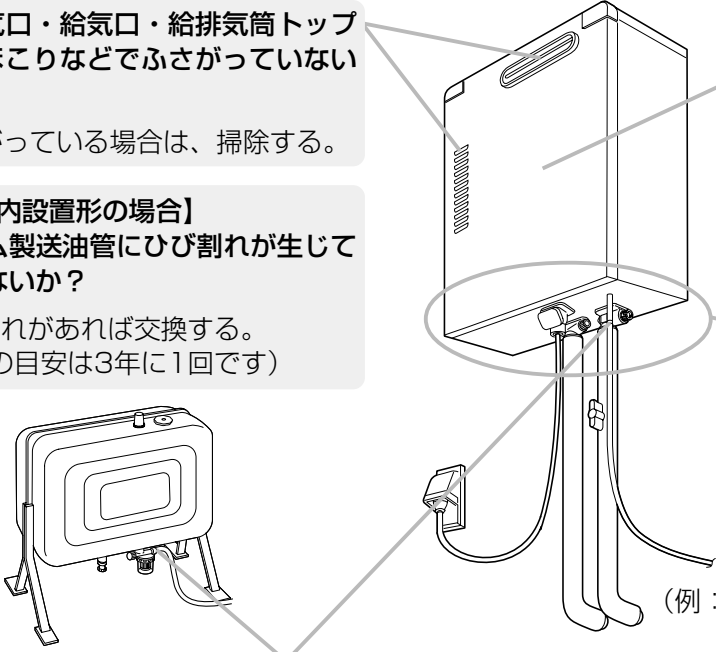
➡ ふさがっている場合は、掃除する。

チェック 【屋内設置形の場合】ゴム製送油管にひび割れが生じていないか？

➡ ひび割れがあれば交換する。（交換の目安は3年に1回です）

チェック ＊機器の外観に異常な変色や傷はないか？
＊運転中に機器から異常音が聞こえないか？

➡ 異常があった場合は、販売店または、弊社窓口へ連絡する。

チェック 機器・配管から水漏れはないか？

➡【水漏れがあった場合】
1. 給水元栓を閉める
2. 運転スイッチ「切」にし、機器を使用しない
3. 販売店または、弊社窓口へ連絡する

（例：屋外設置形）

チェック オイルタンクや送油管の接合部などから、油漏れがないか？

➡【油漏れのある場合】
1. 送油バルブを閉める
2. 運転スイッチ「切」にし、機器を使用しない
3. 販売店または、弊社窓口へ連絡する

チェック 機器や排気口・給排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

➡ 燃えやすいものを置かない。

お手入れ（定期的に）

● 機器本体 ●

機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

● リモコン ●

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

お願い	リモコンの掃除には、ベンジンや塩素系の洗剤を使用しない	お願い	リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない、故意に水をかけない
変形する場合があります。		炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。 防水型のリモコンでも、多量の水は故障の原因になります。	

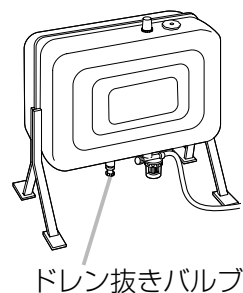
（つづく）

日常の点検・お手入れのしかた-2

（つづき）

● オイルタンク ●

オイルタンクに水が混ざると、オイルタンク内部のさび発生や不完全燃焼の原因になるため、定期的に水抜きをしてください。

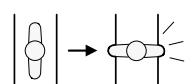
1. オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける容器を置く。
2. ドレン抜きバルブを開け、約200cc排水する。
3. 容器にたまった液体が分離していれば灯油に水が混ざっているので、一度容器を空にし、再度約200cc排水する。（分離しなくなるまで、繰り返す）
   ※分離していなければ水は混ざっていないので、出た灯油はオイルタンクへ戻してください。
4. 水抜きが完了したら、ドレン抜きバルブを閉める。

● 水抜き栓のフィルター ●

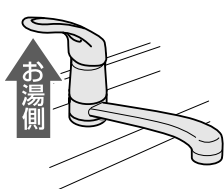
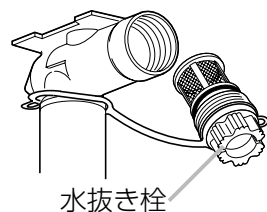
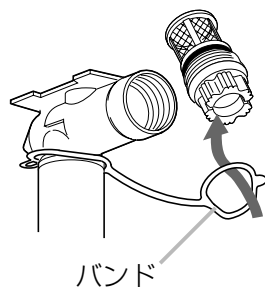
水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転スイッチ「切」にして機器が冷えてからおこなってください。（やけど予防のため）

水抜き栓

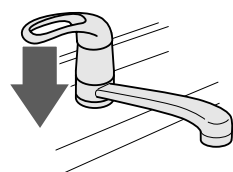
給水元栓

（例：屋内設置形）

1 給水元栓を閉める

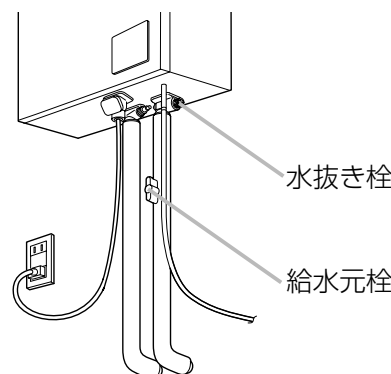
2 すべての給湯栓を開ける

3 水抜き栓を外す
※このとき水（湯）が出るので注意してください

4 水抜き栓をバンドから外す

5 フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする
※水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください

水抜き栓
フィルター
パッキン

6 元どおりに水抜き栓を取り付ける

7 すべての給湯栓を閉める

8 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する

定期点検（有料）

長期間ご使用になると、機器の点検が必要です。１年に１回程度、販売店または、修理資格者［（財）日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など］のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

故障・異常かな？と思ったら-1

＊ 確認 ：確認していただきたい事項です。

お湯（シャワー）を使うときに、おかしいな？と思ったら

? 給湯栓を開いてもお湯が出てこない

＊ 確認 オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？
＊ 確認 断水していませんか？
＊ 確認 給湯栓は充分開いていますか？
＊ 確認 灯油がなくなっていませんか？（なくなっている場合☞灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する）
＊ 確認 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていませんか？（☞P36）
＊ 確認 凍結していませんか？
＊ 確認 運転スイッチは「切」になっていませんか？
＊運転スイッチ点滅中は、お湯が出ません。（☞P3）

? 給湯栓を開いてもすぐお湯にならない

＊機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。

? 低温のお湯が出ない

＊ 確認 オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？
＊ 確認 給湯温度の設定は適切ですか？（☞P18）
＊水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。
＊少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。

? 高温のお湯が出ない

＊ 確認 オイルタンクの送油バルブが全開になっていますか？
＊ 確認 給湯温度の設定は適切ですか？（☞P18）

? 給湯栓を絞ると水になった

＊給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約2L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。

? 給湯温度の調節ができない

＊ 確認 【浴室リモコンがある場合】操作しているリモコンが優先になっていますか？（☞P19）

? 給湯栓から出るお湯の量が変化する

＊お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。
＊給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。

? お湯が白く濁って見える

＊水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。

＊：確認していただきたい事項です。

おふろに関して、おかしいな？と思ったら

? おふろのお湯がぬるい／おふろのお湯があつい

＊確認 お湯はり温度（給湯温度）の設定は適切ですか？（☞P18）
＊前日などの残り湯（水）があるときは、その分だけ設定したお湯はり温度よりぬるくなります。

? 設定したお湯はり湯量より、多くお湯はりされてしまう

＊残り湯（水）がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っているお湯（水）の量だけ、設定したお湯はり湯量より多くなります。

? 設定したお湯はり湯量より、少なくお湯はりされてしまう

＊お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり湯量が少なくなります。

リモコンがおかしいな？と思ったら

? 運転スイッチが勝手に切れる

＊確認 ヒーター予熱予約（☞P24～27）や省電力タイマー（☞P31）の設定をしていませんか？

? 運転ランプが点灯しない

＊確認 停電していませんか？
＊確認 電源プラグが差し込まれていますか？

? 運転ランプがいつのまにか点灯している

＊確認 ヒーター予熱予約の設定をしていませんか？（☞P24～27）

? 時計表示が「0：00」になっている

＊停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電し、運転スイッチ「入」にすると時計表示が「0：00」になりますので、時計を合わせなおしてください。

? 表示の節電の状態にならない

＊確認 表示の節電「する」に設定していますか？（☞P31）
＊給湯温度を60℃・75℃に設定している場合は、表示の節電はしません。

? リモコンの画面表示がいつのまにか消えている

＊機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。（☞P29）
再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
＊確認 ヒーター予熱予約（☞P24～27）や省電力タイマー（☞P31）の設定をしていませんか？

? リモコンの画面表示がいつのまにか流れるように動いている

＊表示の節電「しない」に設定した場合（☞P31）、機器を使用しないまま約10分たつと、画面の焼付防止のため、画面の状態が変わります。（スクロール表示）（☞P29）
再使用したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。

? スイッチを押しても、そのスイッチの動作をしない （例）運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに、切れていない　など・・・

＊表示の節電中は、１回押すと表示の節電を解除し、もう１回押すとそのスイッチの機能がはたらくスイッチと、１回押すだけでそのスイッチの機能がはたらくスイッチがあります。（☞P29）
運転「入」「切」は、運転ランプの点灯・消灯で確認してください。

? 燃焼表示が点灯したり、消灯したりする

＊しくみ上、断続的に燃焼と消火をくりかえすことがあります。

? 設定した湯量までお湯はりしても、お湯はりブザーが鳴らない／鳴るタイミングがずれている

＊次のような場合は、お湯はりブザーは鳴りません。
・ お湯はり湯量を「お湯はりブザーは鳴りません」に設定している場合（☞P22）
・ お湯はり中に、台所リモコンで優先を切り替えるため運転スイッチを「切」「入」した場合

＊設定した湯量分お湯が連続して出ると、お湯はりブザーが鳴るしくみになっています。
お湯はり中に台所やシャワーでお湯を使うと、設定した湯量になる前にお湯はりブザーが鳴ります。
＊サーモスタット付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるため、設定したお湯はり湯量より水の分だけ多いところでお湯はりブザーが鳴ります。

＊：確認していただきたい事項です。

機器がおかしいな？と思ったら

? 使用中に消火した

＊確認 オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？
＊確認 断水していませんか？
＊確認 給湯栓は充分開いていますか？
＊確認 灯油がなくなっていませんか？（なくなっている場合☞灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する）

? 運転を停止しても、しばらくの間ファンの回転音（ブーン）がする 運転スイッチを「入」「切」したとき、給湯栓を開閉したとき、給湯温度を変更したときなどに、モータが動く音（ウィンウィン）がする

＊再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。

? 運転中にときどき「ビー」という音がする

＊灯油をくみ上げるために、くみ上げポンプが作動している音です。

? 運転中にときどき「カチッ」という音がする

＊しくみ上の音であり、異常ではありません。

? 給湯栓の開閉時にときどき「パキパキ」という音がする

＊熱交換器内で圧力が上がり、一時的に温度が上がるため、音がします。

? 寒い日に排気口・給排気筒トップから湯気が出る

＊冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。

? 過圧防止安全装置（水抜き栓）から、お湯（水）が少しの間出ることがある

＊機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、過圧防止安全装置（水抜き栓）から水滴が落ちることがあります。

? 水が青く見える／浴槽や洗面台が青く変色した

＊水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分（湯あか）により浴槽や洗面台が青く着色することがありますが、健康上問題ありません。浴槽や洗面台をこまめに掃除することにより、着色しにくくなります。

故障表示が出ているときは

不具合が生じたとき、時計表示部に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。
（お客さまで対処できるもののみ記載しています）

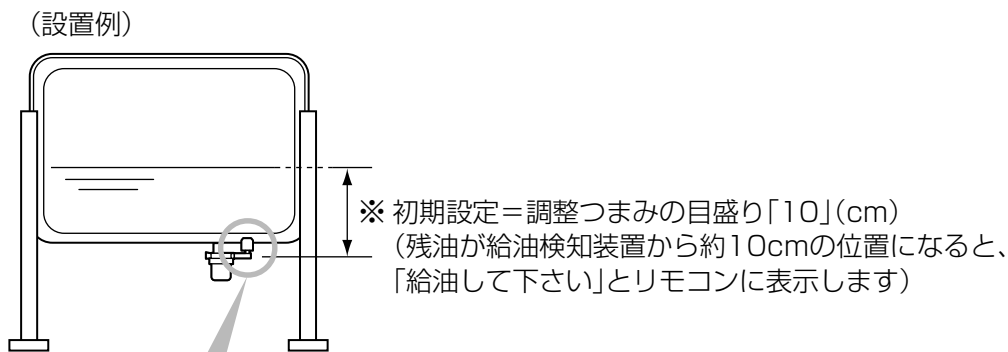
故障表示	原　因	処　置
011	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
100	対震自動消火装置の作動	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 ※地震による場合は機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れがないか確認してから操作してください。
110 120	＊燃焼制御装置の非検知 ＊灯油切れの可能性があります	①運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 ②上記操作後も表示が出る場合は、オイルタンクの残量を確認し、減っていれば給油してください。その後、再度①の操作をしてください。
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
290	フロートスイッチの作動	オイルタンクの残油量、送油バルブを確認してください。
800	オイルセンサー検知	オイルタンクの送油バルブを閉めてから、販売店または、弊社窓口へご連絡ください。
給油して下さい	オイルタンクへの給油お知らせ	オイルタンクへ給油して、表示が出なければ正常です。
		残油量が多いのに表示が出る・残油量が少ないのに表示が出ない場合は、給油検知装置の調整をしてください。（☞P42）

● 以下の場合は、販売店または、弊社窓口にご連絡ください ●

＊上記以外の表示が出るとき
＊上記の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
＊その他、わからないとき

故障・異常かな？と思ったら-4

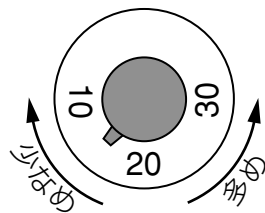
給油検知装置FC－1（別売品）の調整方法

オイルタンクの送油バルブ付近に給油検知装置FC－1が付いている場合、設定した残油量になると「給油して下さい」とリモコンに表示が出て、給油時期をお知らせします。

<調整方法>

1. ゴムカバーを外す
※調整後は確実に
取り付けてください

2. 調整つまみで調整する

給油検知装置は防水型ではありません。
ゴムカバーが確実に取り付けられていないと、雨水などがはいって給油検知装置が故障する原因になります。

<調整つまみを上から見た図>

【残油量が多いのに お知らせ表示が出た場合】
目盛を「10」側に回してください。
（残油量が少なめで表示が出ます）

【残油量が少ないのに お知らせ表示が出ない場合】
目盛を「30」側に回してください。
（残油量が多めで表示が出ます）

＊給油検知装置は傾いて取り付けられている場合がありますが、性能上、問題ありません。

部品交換のしかた

部品の交換は必ず純正部品を使用してください。また故障やおわかりにならないことがありましたら販売店に相談していただき、修理資格者［（財）日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など］の修理をお受けください。

初期設定一覧

項目	初期設定
時計表示（未設定時）	0：00
給湯温度	40℃
お湯はり湯量	180L
ヒーター予熱の予約パターン	P1
リモコン操作音	あり

● 以下は「いろいろな設定を変更する」（☞P30～31）で変更できる項目です ●

項目	初期設定
省電力タイマー	連続
お湯が使えるお知らせ音	あり
表示の節電	する
給湯最高温度	75℃

主な仕様

製品名		OQB-G4702WFF BL OQB-G4702WFF
型式の呼び		OQB-G4701WFF(OQB-G4701WAFF)
種類	燃焼方式	気化式
	給排気方式	屋内用密閉式強制給排気形
	給水方式	水道直結式
	加熱形態	瞬間形
点火方式		高圧放電式
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)
燃料消費量		5.2L/h
連続給湯効率		86.5%
連続給湯出力		46.5kW
熱交換器容量		1.0L
使用圧力		1MPa以下
伝熱面積		1.24m²
外形寸法		高さ600mm 幅470mm 奥行210mm
質量		25kg
電源電圧及び周波数		AC100V　50／60Hz
定格消費電力		点火時：980W/980W　燃焼時：85W/85W
	凍結予防ヒーター	129W
待機時消費電力		運転スイッチ「切」時：約3W
給排気筒の型式の呼び		FF-101A,FF-102A,FF-103W,FF-105
給排気筒の呼び径		D80
給排気筒の壁貫通部の孔径		120mm
排気温度		260℃以下
騒音レベル		46dB(Aレンジ)
待ち時間		約1分40秒
電流ヒューズ		20A
温度ヒューズ		バーナー温度ヒューズ：184℃、缶体温度ヒューズ：184℃
安全装置		対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置
その他の装置		凍結予防ヒーター、油漏れ検知装置
付属品		ゴム製送油管、ゴム製送油管締付バンド、タケノコパイプ、タケノコパイプセット、袋ナット、操作部カバー、リモコン取付部材

製品名		OQB-G4702W BL OQB-G4702W	OQB-G4702WS BL OQB-G4702WS
型式の呼び		OQB-G4701W(OQB-G4701WA)	OQB-G4701WS(OQB-G4701WA)
種類	燃焼方式	気化式	
	給排気方式	屋外用開放形	
	給水方式	水道直結式	
	加熱形態	瞬間形	
点火方式		高圧放電式	
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)	
燃料消費量		5.2L/h	
連続給湯効率		86.5%	
連続給湯出力		46.5kW	
熱交換器容量		1.0L	
使用圧力		1MPa以下	
伝熱面積		1.24m²	
外形寸法		高さ690mm 幅470mm 奥行210mm	
質量		28kg	
電源電圧及び周波数		AC100V　50／60Hz	
定格消費電力		点火時：980W/980W　燃焼時：85W/85W	
	凍結予防ヒーター	129W	
待機時消費電力		運転スイッチ「切」時：約3W	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		48dB(Aレンジ)	
待ち時間		約1分40秒	
電流ヒューズ		20A	
温度ヒューズ		バーナー温度ヒューズ：184℃、缶体温度ヒューズ：184℃	
安全装置		対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置	
その他の装置		凍結予防ヒーター、油漏れ検知装置	
付属品		送油管、フレアニップル、台所リモコン及び取付部材	

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P37～42の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

品名・機種コード ･･････････下記の方法で、リモコンでお調べください
お買い上げ日 ･･････････････保証書をご覧ください
異常の状況 ････････････････故障表示など、できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。（工事店にご相談ください）

● 品名・機種コードの調べかた ●

操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転スイッチ「切」にする		
2 を 右の表示が出るまで（約2秒間）押す	 ＜品名･機種コード表示画面例＞	＊台所リモコン・浴室リモコンともに表示は共通です。 ＊約20秒そのままにすると、元の表示に戻ります。

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年（BL品は10年）です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

BL認定品には、機器の前面にBLマークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
（財）ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

据え付け

据え付け場所の選定および標準据え付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、販売店または、据え付け業者とよくご相談してください。また「標準据え付け例」については、工事説明書の「標準据え付け図例」をご確認ください。

騒音防止について

設置場所の選びかた次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう、充分配慮して設置場所を選択してください。（販売店とよく相談してください。）
＊夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の使用には気を配りましょう。
＊隣家からなるべく離して設置してください。
＊ブロック塀などが近くにある場合は、音が反響して大きくなることがありますのでご注意ください。

据え付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

試運転

「試運転」については、工事説明書の「試運転」をご確認ください。

無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社窓口に修理をご依頼ください。

お客様	ご芳名　　　　　　　　　　　　様	
	ご住所	
販売店	店名	扱者印
	住所	
	電話番号	
お買い上げ日	平成　　年　　月　　日	
保証対象部分	機器本体(リモコン含む)	

BL認定品	製品名	OQB-G4702WFF BL OQB-G4702W BL OQB-G4702WS BL
	保証期間	お買い上げ日より2年間 (但し、熱交換器のみ3年間)

製品名	OQB-G4702WFF OQB-G4702W OQB-G4702WS
保証期間	お買い上げ日より1年間

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または、弊社窓口が無料修理致します。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社窓口にご相談ください。
4．ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社窓口にご相談ください。
5．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（1）取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
（2）お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
（3）建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
（4）火災、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
（5）水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
（6）車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
（7）工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
（8）業務用(喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等)でご使用になった場合。
（9）機器に表示してある以外の使用燃料・使用電源(電圧・周波数)でご使用になった場合。
(10) 温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する不具合。
(11) 排水不良等による機器の冠水等に起因する不具合。
(12) 本書のご提示がない場合。
(13) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
6．本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

保証責任者　株式会社ノーリツ　神戸市中央区江戸町93番地

■お客様へ
1．この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
2．本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
3．無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
4．この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(060405A)

修理の窓口（保守・点検サービス含む）

NTSコールセンター
0120-911-026（電話料金無料）

携帯電話からは以下の番号へ
03-5327-5024〈東日本〉
078-928-5476〈西日本〉

FAX
03-5327-5039〈東日本〉
078-928-4831〈西日本〉

受付時間：年中無休　24時間修理受付
（株式会社NTSは株式会社ノーリツ100%出資の会社です）

修理以外の窓口（商品のお問い合わせ等）

ノーリツお客様相談センター
0120-977-300（電話料金無料）

携帯電話からは以下の番号へ
078-921-5600

FAX
078-921-5656

受付時間：平日・土曜日　9：00～19：00
祝日・日曜日　10：00～18：00
（年末年始の12月30日～1月4日は除く）

■個人情報の取扱いについて
●ご連絡頂いた個人情報はお問い合わせ対応に必要な範囲で使用し、当社規定により厳格に管理します。
なお、個人を特定できない情報に加工し、ノーリツグループのサービス向上や製品開発等に利用させていただきます。
●ご連絡頂いた個人情報に誤りがある場合、当社からご連絡できない場合があります。
●ご連絡頂いた個人情報は、以下の場合を除き、第三者に開示・提供致しません。
(1)修理や各種ご案内・お問い合わせ対応のために当社関係会社や販売店等へ連絡する場合
(2)機密保持契約を締結した外部業者に業務を委託する場合
(3)法令等にもとづく場合
●お客様ご自身の個人情報の開示・訂正・削除等に関しては、お客様相談センターにご連絡願います。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆

(060405)